

平成24年度 第3回理事会 議事録

平成24年12月 8日・9日

愛知県豊橋市「桜丘高等学校 会議室」

次 第

- 1 司会進行 堤谷
- 2 出席者 丸岡・井上・坂井田・早川・今井・折本・大野・中梶・中村・中田・河田・
月成・林・中本・堤谷
以上15名 理事現在数の3分の2以上の出席により会議成立
- 3 部長挨拶 丸岡 禎
- 4 議長選出 規約 第26条 3項 より部長が行う

5 議 題

- (1) 平成24年度全国高校選抜自転車競技大会事前協議及び実施要項について

(理事長・総務・技術審判)

要項について(総務部会長)

○専門委員長会でおおむね周知済み

○女子の部分について手を加えている

○参加制限 (1) (4) 男子、女子の・・・を追加

(2) (3) 男子の・・・を追加

○男子、女子それぞれ1校の参加選手数は6名である

○ロードレースについての人数について

都道府県毎4人まで出場することができる。ただし、男子の特別参加枠は含まれない。

例、都道府県枠4人＋特別参加枠2名＝6名出場(ただし、1校3名まで)

○予備選手の登録と変更について

(ア) 同一校において、ロード・レースにエントリーされていない正選手はロード・レースの予備登録選手として、また、トラック・レースにエントリーされていない正選手はトラック・レースの予備登録選手として登録される。

○練習時間については未定である。

○1kmTTおよび3kmIPの公式記録の取り扱いについて

周長補正および電子計時を用いたリザルトが公式記録であるが、すべての都道府県にそれを徹底させることは現状では難しい。

○男子の指定された3大会で入賞した特別参加枠の人数は27名である。

事前協議の報告について（理事長）

○昨年度の大会において、落車事故による緊急搬送が増加したことに関し、マスコミへの説明を頻繁に行った。

今年度は市役所の担当者を配備する。

山鹿市ロードレース開催について（ロード担当中田より）

○一般参加のロードレースを同時開催する（9時スタート。3周回。参加者100人程度）。

選抜大会ロードレースに参加できない高校生も参加が可能である。

○一般参加のロードレースの申込関係は、熊本県自転車競技連盟が行う。

○選抜大会ロードレースは10時スタートとする。

○大会要項に各都道府県から競技役員1名を推薦してもらうことを記載する。

以上 承認

（2）今後の選抜大会会場の選び方について

（理事長・総務）

○北九州市の担当課長と話をした。

（理事長） 選手の移動、役員配置のことを考えれば、1県開催が好ましい。

（担当課長）メディアドームは活用してほしいし、続けていきたい。しかし、北九州市ではロードレースは開催が困難である。

○今後は1県で実施できる開催地を公募する。（JCFでは行っている）

応募した中から開催地を選考する。ドーム会場は天候に左右されずメリットは大きいですが、ドームでなくても1県開催にはメリットがある。（2県にまたがる開催では労力、費用が倍になる）

25年度大会から公募していきたい。

山鹿市は1県開催でも可能とのこと。

○26年度大会から公募制を進めていく。

以上 承認

（3）平成25年度大分インターハイの進捗状況について

（総務・技術審判）

要項について（総務部会長）

○ブロック別参加制限について

24年度の東北ブロックの登録選手は前年度より26名減。

24年度の関東ブロックの登録選手は前年度より44名増。

ブロック参加人数は比例配分されるが、種目別参加選手数を早急に考え直さないといけない。

要項について（技術審判部会長）

○ケイリンの実施について

準決勝 → 決勝6名、7～12位決定戦へ変更することについて承認を受け、委員長会に議題として提案する。

○標準タイム変更（出場選手およびチーム数を減らす）

- ・ T Pは20チーム程度の参加を想定し、標準タイムを4'47"000以内とする。
- ・ T S Pも変更20チーム程度の参加を想定し、1'24"000以内（周長400m）
1'09"500以内（周長333m）
1'45"500以内（周長500m）
52"000以内（周長250m）
- ・ 1kmTT 1'12"000以内
- ・ 3kmIP 3'50"000以内
- ・ **平成25年度県・ブロック大会において、TSP・TPの標準タイムをクリアしたチームは、IHの参加が認められる。**

※上記事項については承認を受け、委員長会に議題として提案する。

○競技日程について

- ・ ポイントレース予選を2日目（トラック初日）最終種目にもってくる。
- ・ 女子の参加者14名→30名に増やす。種目、レースが増えることが見込まれる。
KR（12名）、500mTT（未定）、PR（18名）、SC（未定）
- ・ 女子選手選考は、前年度選抜大会上位入賞者およびブロック大会を参考にする。

以上 承認

（4）自転車競技専門部競技者及び指導者規程の制定について（総務）

実業団との2重加盟について（総務部会長）

○全国高体連規程より第5条（2）には、手続きを行う必要があると記述。

※上記事項について規程内容を全国高体連に確認し、委員長会に諮る。

以上 承認

（5）第5回全日本ステージレースについて（理事長）

- ・ 9月 6～ 8日に実施予定。
- ・ 現在、主催が日本自転車競技連盟及びNPO法人岩手県バイコロジーをすすめる会であるが、全国高体連専門部も主催に加わって欲しい旨の要望があった。しかし、全国高体連規程、運営及び経費負担等の問題が予想されるので、現状では難しい。
今までも高体連所属の先生方が運営面で協力をしている。

以上 承認

(6) 各専門部会より

(総務・技術審判・強化育成)

総務部会より (総務部会長)

○総務部会構成メンバーについて

現在はインターハイや選抜大会開催メインの人選である(7名)。しかし、ここ数年、J K A補助金関係の処理、インターハイの広報の準備など総務業務が多くなってきている。そこで、多方面における業務を円滑に処理していくことを考え、メンバーの増員(3名程度)を考えている。

技術審判部会より (技術審判部会長) 別紙参照

○技術審判部会の名称変更についての提案

現状はI Hや選抜大会の競技運営面がメインの業務である。

技術審判部会 → **競技運営部会** へ

※上記事項については承認を受け、委員長会に議題として提案する

規約改正について (中村)

○第12条理事のメンバーに「学識経験者」を加える。

加盟校登録された学校の以外の先生でも理事、部会員ができる。

強化育成部会より (強化育成部会長) 別紙参照

○平成24年度全国高体連トラック全国合宿

日時：平成24年12月22日(土)~26日(水)4泊5日

会場：日本サイクルスポーツセンター250m(伊豆ペロドローム)

選考：1、2年生全国大会上位入賞者等20名前後・JCFジュニア指定選手以外

【分担】	業 務	/	●主担当・担当
①	受付業務(負担金・領収書)	/	●山本・板橋・戸高
②	式典・講習(司会・日程調整)	/	●林・山本・板橋
③	体重測定・携帯管理	/	●橋本・板橋
④	合宿日誌・感想文	/	●林・堤谷
⑤	トレーニング・計測記録	/	●佐藤・山本・橋本
⑥	記録集計・掲示・HP・撮影	/	●戸高・大野・高畑
⑦	報告書	/	●橋本

【準備機器】

①	体重計	/	林
②	予備ホイール	/	林(250m用)・板橋(333m用)2ペア
③	パソコン	/	各自
④	ヘルメットカバー	/	林(3~4種類)

- ⑤インカム(無線機) / 大野(スタッフ用 10 台)
- ⑥救急箱 / 事務局
- ⑦アップ用ローラー / 強化育成部会員(合計 10 台準備)
- ⑧保険 / 山本

【注】危機管理用の行動表を作成して配布し、落車事故等の事態に対応する。

○学校別トレーニング内容の紹介について

- ・冬期トレーニングについて、平日・休日・雨天時の情報を集めて集約する。

○安全対策の取り組みについて

- ・各学校で実施している安全対策についてアンケートを実施する。

○2013 年チョンジュ MBC 国際ロードレース希望調査について

- ・期日：2013 年 5 月中旬 ※昨年度 5 月 17 日(木)～21 日(月)5 日間 5 ステージ
- ・場所：大韓民国
- ・選手：6 名(1995 年・1996 年生まれ)
【H22】 関東・四国 【H23】 近畿・北信越 【H24】 近畿
※単独で編成できない場合は、他のブロックとの混成チームでも可能です。
- ・経費：渡航費用等は 2/3 が JKA の補助・1/3 は自己負担・現地滞在費補助あり

以上 承認

(7) 役員改選について

(総務)

- 今年度役員改選が行われている。
- 1 2 月中旬に公示
- ブロック委員長 9 名と事務局長で構成
- 選挙管理委員長をブロック委員長 9 名の中から 1 名選出する予定である。

以上 承認

(8) その他

○規約の改正について(総務部会長)

- ・次年度事務局長が替わるので、所属する高等学校が変わる。
- ・規約 第 30 条の表現を変更する。インターハイ及び選抜大会の準備・運営には技術審判部会、総務部会のメンバーが中心になってあたっている現状がある。開催地実行委員会の行政の方に理解いただくために専門部の規約の中に反映させたい。

○次年度からの事務局配置について(理事長)

- ・洛西高校 中本先生を予定していたが、北桑田高校 田中先生に引き継ぎをしていく予定。

○平成24年度経費削減合同検討会議第2次ヒアリングについて（理事長）

- ・全国高等学校体育連盟事務局12月10日（月）11：00より行われる。
- ・坂井田理事長、24年度IH担当小柳先生（吉田高）、堤谷事務局長が参加。
- ・別紙資料を確認していただきたい。

以上 承認

6 報告事項

（1）JCF関係について（理事長）

○臨時の評議委員会について（理事長）

- ・日本自転車競技連盟にて12月21日（金）行われる。

○賠償責任保険について

- ・来年度の選手登録時に賠償責任保険加入していく。登録費2,000円アップ。

（2）平成24年度全国高体連加盟団体長会・専門部長・委員長合同会議について（理事長）

○今回特になし。

（3）第4回全日本ステージレースについて（理事長）

- ・女子の参加チームが全体で8チームに増えた（高体連チーム3名、高体連育成チーム3名）。

（4）2012年第18回日韓対抗学生自転車競技大会について（理事長）

○奈良県開催について（プログラム、リザルト参照）

- ・11月3・4日奈良競輪場にて実施。
- ・落車事故等もなく無事終わった。

○来年度開催について

- ・10月26・27日韓国・ナジュで実施予定
- ・派遣は25日出発、26・27日競技、28日ソウルに移動・宿泊、29日帰国。

○来年度大会の種目変更について

- ・ポイントレースを30から24kmに変更。
- ・TP、TSPを学生と高校生の混成チームで編成する。

※上記事項については学連との調整を予定している。

（5）平成26年度全国高校総体自転車競技大会（山梨）会場視察について（理事長）

- ・笛吹市役所1月7（月）～8日（火）
- ・坂井田理事長、今井総務部会長、折本技術審判部会長が視察参加予定。

(6) 各専門部会より

(総務・技術審判・強化育成)

規約改正について (中村)

○第12条理事のメンバーに「学識経験者」を加える。

加盟校登録された学校の以外の先生でも理事、部会員ができる。

技術審判部会より (技術審判部会長) 別紙参照

○第3回技術審判部会開催について

報告事項

ア. 第4回全日本ステージレースについて

- ・レース中、選手団が道幅いっぱいに広がる状況で、バイク審判と選手との接触事故が起きるアクシデントがあった。
- ・審判技量の向上や経験にもなるので、高体連からの審判派遣を継続要望したい。

イ. 審判講習テキストの配布及びHPアップについて

- ・内容は旧ルールの部分もあるが、図で説明されている箇所が多く、ルールがわかりやすく解説されている。
- ・大会に臨む選手にもルールを理解してもらいたい。
- ・24年度内に寺崎が素案をまとめる。

ウ. 2013年大分インターハイについて

- ・大会日程について
- ・ケイリンの勝ち上がり方法について
- ・タイム制限について

エ. 第18回日韓対抗学生自転車競技選手権大会 (奈良)

- ・韓国選手団にとっては関空利用により1時間程度で会場に到着でき、利便性が高かった。
- ・落車事故もなく大会運営は成功であった。
- ・ハングル文字フォントで苦労した。プログラム掲載においてハングル文字が不要であれば助かる (是永)。

エ. 平成24年度全国高体連トラック全国合宿へ審判部会からの派遣者について

- ・本年度は高畑先生にお願いする。
- ・ビデオ撮影・編集を行い、専門部HPで閲覧準備していく。

強化育成部会より (強化育成部会長) 別紙参照

○第1回強化育成部会開催について

1、期 日 平成24年11月30日 (金) 17:30～20:00

12月 1日 (土) 10:00～12:00

- 2、会 場 東横イン名古屋駅桜通口新館 会議室
- 3、参加者 大野、林、板橋、戸高、橋本、 欠席者 山本(委任)
- 4、内 容 (1) 平成 24 年度全国高体連トラック全国合宿
(2) 学校別トレーニング内容の紹介について
(3) 安全対策の取り組みについて
(4) 2013 年チョンジュ MBC 国際ロードレースについて

ア. 第 4 回全日本ステージレース in いわて

【日時】平成 24 年 8 月 30 日(木)～9 月 2 日(日)

【場所】岩手県、八幡平市(安比高原コース・岩手山パノラマラインコース)

【全国高体連選抜チーム】

【監督】大野 直志(八戸工業高校)青森

【1】江藤里佳子(別府商業)大分

【2】谷 伊央里(前橋育英)群馬

【3】齋藤 望(古川工業)宮城

【全国高体連強化育成チーム】

【監督】山本 宏恒(作新学院高校)栃木

【1】柳本 愛奈(笛吹高校)山梨

【2】元砂七夕美(榛生昇陽)奈良

【3】伊東 小紅(浜松学院)静岡

【結果】http://www.hs-cycling.com/jcf_junior/2012/2012_iwate/rp_2012iwate.html

イ. 第 18 回日韓対抗学生自転車競技選手権大会 (学連共催事業)

【日時】平成 24 年 11 月 3 日(土)～11 月 4 日(日)

【場所】奈良競輪場

【結果】日本 82 点：韓国 70 点

http://www.hs-cycling.com/jcf_junior/2012/2012_japan-korea/2012_j-k_result.pdf

(7) 賛助会員の状況について

(事務局)

(8) その他

2 月 1 6・1 7 日成城高校にて専門委員長会の前に**理事会**を行う。

(例年は常任理事会の開催をもって委員長会を開催したが、今年度は、懸案事項が多いため理事会を開催する。)